

《親睦リーグ・新型コロナウイルス対策要領》

親睦リーグ会長 鎌田 嘉次

副会長 倉澤 寛

審判部長 網代 保

◎練習・試合参加について

- 1) 発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。
- 2) 14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- 3) 過去 14 日以内に海外への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- 4) 練習・試合前後は、マスクを着用する。

◎練習・試合について

- 1) 三密(密閉、密集、密接)を可能な限り避ける
- 2) 活動は選手、指導者含めて 50 名未満で行う。
- 3) 活動時間は必要以上に長時間とならないようにする。
- 4) 近距離(2 メートル以内)での接触を極力避けるようにする。
- 5) 全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- 6) 肌が触れ合うハイタッチ等は行わない。
- 7) 練習中のマスクは各自判断とする。マスク着用の際は、熱中症等に十分気を付ける。
- 8) バケツに氷、水をいれて各選手のタオルを纏めて冷やして使用する行為はやめる。
- 9) 水筒、タオル等は各自持参する。
- 10) キャッチャーマスク、グローブ他用具は基本共有しない、やむを得ない場合はしっかり消毒する。

◎試合時の審判に関して

- 1) 試合中、審判は必要以上の選手及び審判同士の密着を避けるよう指導する。
(必要であればタイムをかけて注意する)
- 2) 試合中、球審はマスクを着用する。但し、イニングの合間にこまめに水分を補給するなどして、熱中症の予防には充分注意すること(塁審についてはマスク着用はしない)。
- 3) 試合中、審判はいつも以上に選手の体調に気を配る、必要と思えたらルールより安全を優先する。
- 4) 試合中、審判の水分補給については接触感染を避ける必要もあり、試合当該チームからはもらわず、各自用意しての補給とする。

◎その他

- 1) 手洗い、こまめなアルコール等での消毒を実施、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- 2) 鼻水、唾液などが付いたごみは、各自持ち帰る。
- 3) 練習・試合前後は必要以上の滞在を避け、速やかに行動する。
- 4) チーム内において、感染者が発生した場合は、チームの活動を停止する。
- 5) 練習・試合場所への移動は、公共交通機関の利用を極力控える。
- 6) 審判、監督及びコーチは選手の体調維持を最優先する。